

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	奈良市家庭教育支援チーム (呼称:NPO法人大宮地区社会福祉協議会) URL: https://oomiya-shakyo.jimdofree.com/
②活動拠点	奈良市立大宮小学校、三笠公民館、リリースクール など
③活動範囲	奈良市内
④組織体制	23 人 元・民生委員児童委員、社会教育委員、 地域教育協議会地域コーディネーター、 奈良市 PTA 連合会副会長 など
⑤活動開始年度	2017 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 理事長・今西 康乃 (TEL)070-1779-0038 (E-mail) oomiyaa0038@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☐ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☒ 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

- ・主に奈良市立大宮小学校区の小学生のための学習支援と居場所づくり「おかえりスタディー教室」

学校のある月水木曜日の放課後に居場所に寄ってもらい、おやつを食べながら学習をしてもらう取組。月曜日と木曜日は 15:10 から 16:45 までリリースクールにて、水曜日は 14:10 から 16:00 までぷろぼの食堂を借り切っている。毎回 16 人から 26 人ほどの小学生が参加している。

- ・中学生、高校生の学習支援事業「おしえてスタディーroom」

毎週火土曜日の 18:30 から 20:30 まで奈良市立三笠公民館にて学習支援を行う。主に中高校生が来ているが、その兄弟姉妹を中心に小学生から浪人生まで毎回約 20 人が参加している。スタッフは年齢の近い大学生や若者をお願いしており、フラットな雰囲気での学習支援をおこなっている。

- ・子育て世代の繋がり応援事業「おいでよ ゆめのくに」

未入園児を持つ保護者と子どものための居場所と繋がりづくり事業。スタッフは現役の子育てママをお願いしており、日々の悩みや心配事も相談できる居場所になっている。また、子どもたちの友達づくりと保護者の家庭教育への支援にもつながっている。

- ・奈良市の子ども等見守り強化事業として子ども宅食を実施

困難な課題をもつ家庭にお弁当を届けるとともに、相談支援も行っている。困窮や孤立を抱えた家庭状況にあるため、伴走支援も行っている。

- ・長期休暇中の平日子ども食堂「大宮レストラン」

夏休み、冬休み、春休みの平日は毎日、会食型の子ども食堂を地域の飲食店と協働して開催している。

- ・フードパントリー「おうえん食堂」

地域のこども園や保育所にて、フードパントリーを月 1 回ずつ、8 月から 1 月まで 6 回行った。物価高騰に苦しむ子育て世代に生活必需品を配布するとともに、見守っている。

- ・奈良市子ども育成課の学習支援事業を受託

ひとり親世帯、非課税世帯の中学 3 年生の学習支援を行う。奈良市子ども育成課の事業として、子ども育成課から連絡のあった子どもたちを見守りながら、高校受験に向けた勉強を教えている。

④活動の成果 (活動実績がある 場合)	「おかえりスタディー教室」に来てくれていた小学生が、中学生になり「おしえてスタディーroom」に来て学習している。また、「おいでよ ゆめのくに」でママ友になった保護者の子どもたちが「おかえりスタディー教室」に来てくれるという切れ目のない支援ができています。 中学生から学習支援に参加して、大学生になると学習支援のスタッフとして後輩たちに勉強を教えてくれている。また、私たちが主催するイベントのお手伝いにも来てくれて盛り上げてくれている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (福祉医療機構の助成事業、奈良市子ども育成課の居場所作り事業)